

市立総合病院が 生まれ変わりました

平成17年から始められた市立総合病院の改築(リニューアル)工事は、総額約112億円を掛け今月末ですべての工事が終了します。そこで、今回は、新しくなった病院の紹介と、皆さんの関心を集めている里帰り出産、赤字問題をリポートします。

ここが変わりました

送迎に便利

中に入る前に、玄関前に立って見渡すと、その広さに驚かされます。病院の正面入口前は、車寄せスペースが広くとられ、交通整理のための円形地帯(ロータリー)が設けられています。

路線バスと広い歩道

さらに、今まで病院の前を通っていた路線バスが、敷地内に入って、玄関口のそばで乗降車できるようになりました。歩いて来るかたのためには、国道から真つすぐに幅の広い歩道が整備されています。その途

中には駐輪場やタクシー乗り場、さらにはバス停が設置され、屋根もありますから天気が悪いときも助かります。

明るく奇麗な内装

正面玄関は、明るいガラス張りです。歩道から院内まで段差がなく、しかも自動ドアですから、高齢者でも入りやすくなっています。中に入ると、圧倒される広い吹き抜けの空間があります。明るい色の床と白い壁面、内装には木材も使われていて、とても明るく奇麗です。

ゆったりとした空間

外から見上げると、正面玄関の上には南向きの大きなガラス張りのスペースがあり、そこでは、これまでにクリスマスコン

サートや写真展などが行われたそうです。また、無料のインターネット端末や本棚もあり、患者さんやお見舞いのかたがゆっくりくつろげるスペースとなっています。

受診しやすい

各外来や検査室などは玄関から入った階(2階)と3階に集中していて、受診しやすい配置になっています。

便利なレストラン

今まで建物の奥の方にあった食堂が、正面ロータリーを見渡せる場所にレストランとして開店していて、診察やお見舞いの前後、バスを待つ間にも利用できるとなっていて、とても便利になりました。



リポーター 明石満広さん(扇田・中町)